

議会かほく

Vol. 80
2023.11.1

審議された議案など
討論
一般質問（7人）
常任委員会レポート
行政評価・決算認定審査
議会日程・傍聴案内

2
3
5
12
16
20



外日角小学校稲刈り体験（説明は裏表紙）

第80号 発行日／令和5年11月1日 編集／かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <https://www.city.kahoku.lg.jp>
発行／石川県かほく市議会 住所／石川県かほく市宇野気二81番地

Eメール gikai@city.kahoku.lg.jp
☎076（283）7126 FAX076（283）7188

令和5年 第4回かほく市議会定例会のお知らせ（11/28～12/14）

日	月	火	水	木	金	土
		11/28 初日 10:00 本会議 （議案説明ほか） 全員協議会 予算決算常任委員会	29 13:30 議会運営委員会	30	12/1	2
3	4	5 議会運営委員会 10:00 本会議 （一般質問） 広報特別委員会	6 10:00 本会議 （一般質問）	7 9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	8 9:00 地域文教常任委員会 地域文教分科会	9
10	11	12 13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会	13	14 10:00 本会議 （討論、採決ほか） 全員協議会		

いしかわ
百万石
文化祭
2023



かほく市開催事業の情報は
こちらからご覧ください。



表紙のお話し

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

外日角小学校5年生の稲刈り体験。5月に児童が手植えをした苗が収穫期を迎えました。収穫も自分たちの手で稲刈りをします。鎌の使い方もわからず、最初は、戸惑う子もいましたが、だんだん慣れてきて上手に刈り取ることができると、楽しくなってきた様子。収穫の喜び、農業の大変さ、食の大切さを学ぶ貴重な体験。お世話いただいた農家さんに対し、稲穂のように頭が下がる。

（S.T.）



議会を傍聴しませんか！

議会ではどんなことが議論されているのか、本会議・常任委員会などを傍聴してみませんか。

どうぞ、お気軽にお越しください。傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。（受付順）



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

広報特別委員会

委員長 塚本 佐和子
副委員長 猪村 博靖
委員 杉本 正一
丸井 一範
中川 康弘
池田 義治
長柄 裕



「議会だより」を
スマホで読む！

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 38円（発行部数 12,700部）

2023. 11. 1

20

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名（議席番号順）															
		長柄裕	池田義治	中川康弘	塚本佐和子	野田稔彦	大西潤	丸井一範	金子猛	坂井正靱	高橋成典	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	寺内照雄	猪村博靖	
認定第1号	令和４年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	○	○	
認定第5号	令和４年度かほく市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	○	○	
認定第6号	令和４年度かほく市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	○	○	
請願第4号	健康保険証廃止の中止・延期を求める意見書の採択を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	－	○	×	

※ ○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 退＝退席 杉本成一議員は議長職のため採決には加わりません。

討論

議案・請願に対して3氏が討論

市税等のコールセンター委託費207万9千円は、4千件余の滞納者に関する個人情報をも民間業者に提供するものであり反対する。

また一人当たり年額で、国民健康保険税を2589円、後期高齢者医療保険料を1613円引き上げることに対する。

中川 康弘

全ての決算認定に賛成

監査委員の入念な審査により適正と認められており、予算決算常任委員会での議会による事前決算審査においても、高く評価している。

墓地特別会計、大海財産区特別会計の2会計以外は、黒字決算となっており、実質公債費比率や将来負担比率なども良好な水準を示している。

「地方創生」の流れを止める

に、スピード感をもって取り組んだ結果が8年連続の人口増加にも表れており、全ての決算認定に賛成する。

長柄 裕

健康保険証一体化に賛成

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けた取り組みは、医療、介護、子育て支援、行政サービス、地域交通などをめぐる地域の社会課題をデジタルで解決していくものであり、一体化の中止・延期を求める本請願について賛同することはできない。

高橋 成典

健康保険証一体化は、中止または延期すべき

現在の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一体化する政府方針に、延期や撤回を求める声が72%に上っている。

国に中止を含め見直しを強く求める。

研修レポート

河北郡市クリーンセンター 現地視察
河北郡市議長会

8月16日、令和5年3月に竣工した河北郡市クリーンセンターにおいて、河北郡市広域事務組合やクリーンセンターの概要などに関する研修を受けました。

ごみの焼却時に発生する熱を蒸気として回収し、蒸気タービン発電機で最大1700kWの発電を行い、施設内および敷地内関連施設の電力として有効活用し、余剰電力を売電すること
で、1市2町の公共施設のCO₂排出量の削減効果が得られるとの説明でありました。

また、回収した蒸気は、下水汚泥の乾燥、給湯などにも活用するとのことでありました。

ごみの排出抑制や資源化率向上の取り組み強化と新クリーンセンターにより、一層の循環型社会・低炭素社会の推進が期待できる研修となりました。

〔市長提出議案〕

議案番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度かほく市一般会計補正予算(第3号))	予算決算	原案承認 (全会一致)
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度かほく市一般会計補正予算(第4号))		
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度かほく市一般会計補正予算(第5号))		
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度かほく市水道事業会計補正予算(第1号))		
議案第49号	令和5年度かほく市一般会計補正予算(第6号)		
議案第50号	令和5年度かほく市水道事業会計補正予算(第2号)		
議案第51号	かほく市総合体育館条例の制定について	地域文教	原案可決 (全会一致)
議案第52号	かほく市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務建設	
議案第53号	かほく市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	地域文教	
議案第54号	かほく市火災予防条例の一部を改正する条例について	総務建設	
議案第55号	公の施設の指定管理者の指定について		
議案第56号	市道の路線変更について		
議案第57号	市道の路線変更について		
議案第58号	市道の路線廃止について		
議案第59号	令和5年度かほく市一般会計補正予算(第7号)	予算決算	

〔認定〕

認定番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
認定第1号	令和4年度かほく市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	原案認定 (賛成多数)
認定第2号	令和4年度かほく市営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について		原案認定 (全会一致)
認定第3号	令和4年度かほく市墓地特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	令和4年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について		原案認定 (賛成多数)
認定第5号	令和4年度かほく市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第6号	令和4年度かほく市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		原案認定 (全会一致)
認定第7号	令和4年度かほく市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第8号	令和4年度かほく市大海財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第9号	令和4年度かほく市水道事業会計決算の認定について		
認定第10号	令和4年度かほく市下水道事業会計決算の認定について		

〔請願〕

請願番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
請願第4号	健康保険証廃止の中止・延期を求める意見書の採択を求める請願書	地域文教	不採択 (賛成少数)

※議案及び請願の主な審査内容については、12ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

一 般 質 問

議会映像QRコード



Q ふるさと納税型クラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）は「返礼品ありきで寄付先を選ぶ」から、「寄付金の使い道で寄付先を選ぶ」へと、人々の意識を変える可能性を秘めているが、本市のふるさと納税の新たな取り組みとして考えを問う。

A 市長 ふるさと納税型クラウドファンディングは自治体が抱える課題解決のため、ふるさと納税の使い道を更に具体化したプロジェクトに対し、寄付の募集を行うものであり、他の自治体でも大きな成果を上げていると聞いている。

今後は対象となる本市での課題となるものの掘り起こしと、



塚本 佐和子

議 会 報 告 会

民生委員児童委員
協議会と意見交換
8月21日

近年、地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化している中で、地域福祉の担い手である民生委員児童委員の果たす役割の重要性は更に高まっています。

こうした地域の課題に、議会として対応するため、今回、民生委員児童委員協議会（吉田建会長）の役員10人と、議会報告会・意見交換会を開催しました。意見の主な内容は次のとおりです。

- ・核家族化による世帯数増加により、受け持ちの世帯数が増え、負担も増えている。民生委員児童委員が活動しやすい環境づくりを推進してほしい。
- ・個人情報など、支援を行う際に必要な情報の把握が難しく、プライバシーにどこまで踏み込んでいくかが課題。

込んで良いか迷うことが多い。関係機関との連携による相談体制の充実が課題。

- ・1期3年間で、半数が新人に入れ替わるため、社会福祉に関する知識の習得や情報の整理が追いつかないため、負担が大きくなっている。3期は続くように支援してほしい。
- ・民生委員児童委員の認知度が低い。市民の理解向上のための広報・活動の強化に力を入れてほしい。

今回頂いた意見を参考に、議会・議員活動を通し、市に対して提案していきます。



民生委員児童委員との意見交換会

質 問 1

ふるさと納税型クラウドファンディング導入は 先進事例の調査研究を行う

先進事例の調査研究を行う。

Q 掘り起こしやプロジェクトの立ち上げには、民間の方の力も必要ではないか。

A 市長 民間の方の知恵も必要と考える。

Q ふるさと納税型クラウドファンディング 自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄付金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、共感した方から寄付を募る仕組み



ふるさと納税パンフレット

一 般 質 問 あなたの声を市政に

各ページの「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。
※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

質 問 2

多様な性に配慮した制服選択制の導入は
導入に向け検討している

Q 12月のパートナーシップ宣誓制度導入に向け、人権擁護運動としてLGBTQ+など多様な方々にとって、安心して過ごせるまちづくりの周知活動が行われているが、多様な人が安心して通える学校の切り口として、制服選択制が必要と考える。

①これまでの制服を選択したという相談件数と実際に認めている場合があるのか。

②制服選択制の導入の考えは。

A 教育長 ①令和5年度では中学校1件、小学校3件の相談があり、全て本人の希望に沿う衣服の着用を認めている。



多様な性についての「にじのま相談室」

Q LGBTQ+ セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を代表するレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの5つの頭文字を取った言葉に、「+（プラスアルファ）」を付けた通称

②制服選択制の導入については、現在、市内3中学校ともに性別を問わず自由に制服を選択できる方向で検討に入っている。

ページ	質問事項	質問者
5	ふるさと納税型クラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）について ほか	塚本佐和子
6	ケーブルテレビ事業の現状と今後について ほか	丸井 一範
7	チャットGPTについて ほか	中川 康弘
8	市の人材確保策について ほか	長柄 裕
9	今年の断水問題に関連して ほか	高橋 成典
10	決算及び財政見通しについて ほか	坂井 正毅
11	音声コードの利用促進について ほか	池田 義治



学校給食を食べる児童たち

Q 県内には、学校給食費無償化や助成をしている自治体が12もある。
県内でも屈指の子育て支援策を進める本市において、多子世帯の経済的負担軽減を図るため、第2子以降の学校給食費の無償化について、市長の見解を問う。



なかがわ やすひろ
中 川 康 弘

質問 1

第2子以降の学校給食費を無償化せよ
無償化も含め子育て支援強化を検討する

A 市長 国も学校給食費の無償化に向けた調査を行い、1年以内に結果を公表し、具体的方策を検討することから、本市でも国や県と連携し、県内市町の動向も注視しながら、学校給食費の無償化も含め、さらなる子育て支援の強化にむけて検討する。

質問 2
生成AIを試験的に導入してはどうか
利用に関するガイドラインを策定するため準備を進めている
Q DXツールの一つであるチャットGPT（生成AI）を行政業務の効率を上げる手段として活用することが注目されているが、試験的導入の考えはあるのか。

A 総務部長 比較的指示の簡単な業務から生成AIを導入したいと考えている。
まずは、職員の能力向上及び一定のガイドラインを策定するための準備を進める。

質問 3
コンビニ等交付サービスの更なる拡充の考えは
基幹系システムの共通化・標準化の移行時期に導入する
*チャットGPT アメリカの企業が2022年に公開した人工知能（AI）を使った会話型のコンピュータプログラム。大量のテキストデータから学習し、自然な言葉で文章を生成できる。



マルチコピー機

Q コンビニ店内のマルチコピー機でマイナンバーカードを使い、住民票の写し等の各種証明書を取得できるコンビニ等交付サービスを既に実施している。
更なる拡充として、所得・課税証明書の発行を進めては。
A 総務部長 費用対効果を考え、今後予定されている基幹システムの共通化・標準化の移行時期に合わせて所得・課税証明書の発行サービスを導入する。



ケーブルテレビ

Q 現在の新築住宅は、従来のアンテナ設置、または光回線を用いてテレビを見る方が多く、ケーブルテレビに入る世帯が減ってきていると聞く。
原因として、ケーブルテレビの場合、別途工事費やプランによってBS、CS放送が見れない、スマホなどの普及により、無料動画の充実、ネットフリックス



まるい かずのり
丸 井 一 範

質問 1

ケーブルテレビの現状と今後について
特性を生かしながら適切に運営していく

クス、アマゾンプライムなどの有料放送に加入される世帯が増えたことも否めない。
本市のケーブルテレビ事業も、平成20年の開局から15年が経過し、加入世帯も5千件を超えたが、今後のケーブルテレビ事業をどう考えているか。
A 市長 契約件数は令和5年3月末時点で5012世帯であり、増加を続けている。
昨年度は90件の新規申込みがあり、そのうち3分の2に当たる60件余りは新築の住宅であることから、若い世代からも一定の評価があると考えている。
また、テレビ放送はブッシュ型のメディアであり、インターネットが不得意な方も多くいることやケーブルテレビが地域に

密着した番組を放送していることから、その存在意義は大きいと認識しており、光ケーブル網の情報インフラとしての意義も考慮し、ケーブルテレビの特性を生かしながら、今後も有効な情報発信媒体の一つとして適切に運営していく。

質問 2
高校生のバス通学、寮費を助成せよ
現時点では考えてない
Q 令和5年4月から高校生の通学費の援助、JRの片道分の運賃の補助が始まったが、寮生活、バス通学をされている子供らへの支援の予定は。
A 健康福祉部長 4月から通学定期券購入支援事業を行っており、8月末で837人からの



通学定期券購入支援の拡充を

申請を受け付けており、対象となる年代の約85%の方がこの助成制度を利用している。
通学定期券購入支援事業については、市内に高校がなく通学費用による問題により、進路の選択を狭めることがないよう、最低限必要となる部分について助成を行うものであり、市外の鉄道駅以降のバス利用や寮生活に伴う経費を対象とすることは考えていない。



水道管の凍結防止工事

Q 七尾市は1月の寒波で断水被害が発生したことを受けて、水道管の凍結・破損防止工事を行う場合に、一般家庭で5万円、事業者で10万円を上限に、2分の1を助成する。当市でも実施すべきではないか。

A 市長 水道管の凍結対策工事は、水道メーターから家屋側の給水管は、個人の所有物である。



たかはし しげのり
高 橋 成 典

質 問 1

水道管の凍結防止工事に助成せよ
使用者の所有物に対する助成は考えていない

Q 頻発する災害に備えるため、体育館などの避難所に、移動式エアコンを整備できないか。

A 地域政策部長 民間事業者と締結している災害応援協定で、移動式エアコンなどを優先的に提供してもらう体制が整っている。

質 問 2

移動式エアコン設置を



宇野気駅東口トイレ

Q 宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

A 宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

質 問 3

宇野気駅東口のトイレ洋式化を

JR西日本に働きかける

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。

宇野気駅東口は、市の顔ともいえる場所であり、宇野気駅西口や横山駅、高松駅は、市が費用負担して洋式化している。

JRの責任で実施すべきだが、今後の見通しについて問う。



ながた ゆたか
長 柄 裕

質 問 1

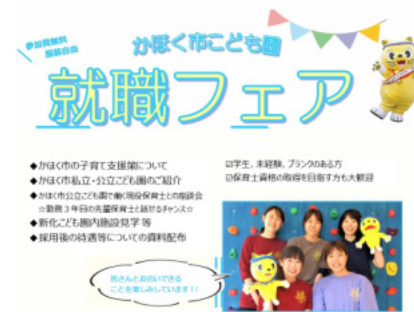
処遇改善などにより、優秀な人材を確保せよ
実効性の高い人材確保策に取り組む

Q 市職員の給与面での処遇改善及び働き方改革を示せ。

A 総務部長 令和元年度における役職の細分化や令和2年度に職員の昇格・昇任制度の改正を行っており、ラスパイレシ指数は段階的に改善する予定である。

このことにより、将来的に国家公務員の給与水準との均衡が図られ、給与面での処遇についても改善していく。

*ラスパイレシ指数 国家公務員の職員構成を基準に、平均給料月額を学歴と経験年数の区分ごとに比較し、国家公務員の給料水準を100とした場合に地方公務員の給与水準を指数で示したものの



就職フェアのチラシ

Q 優秀な人材確保に向けた具体的な取組内容や方針を示せ。

A 一般事務職員の受験年齢要件を35歳に拡大し、また、新たに職務経験枠を新設する。

さらに、新たな職員募集チラシの配布や就職フェアの開催などを実施する。

引き続き、幅広い人材確保のため、国や他自治体の動向を注視し、実効性の高い人材確保策に取り組む。

質 問 2

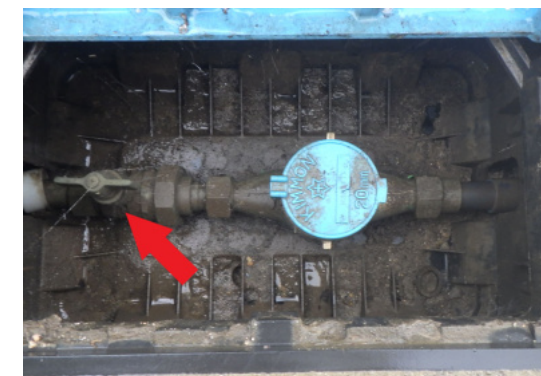
上水道の断水について

万全の準備をして冬季に備える

令和5年1月の寒波による断水での課題を踏まえた今後の対策を問う。

市長 断水発生の主要因となった長期不在住宅へは、毎年12月検針時に、冬季の水道管破損防止に関する注意喚起チラシを配布している。

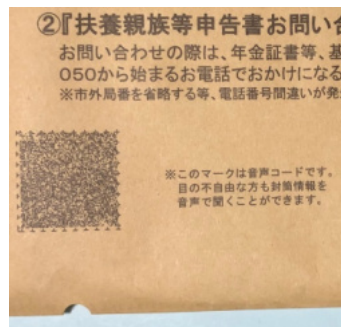
令和5年度に配布するチラシには、強い寒波の襲来が予想される場合、水道事業者である市が止水栓を閉止することについて、新たに付記し、断水対策を周知するほか、止水栓を閉止するための体制整備についても進めている。



量水器ボックス内の止水栓

また、市民の皆様に対し、ホームページ・SNSなどを活用して、寒波襲来に対する備えを広報する予定である。

加えて、市の水道施設の漏水調査や、凍結破損のリスクがある水管橋の定期点検の頻度を高めるなど、万全の準備をして冬季に備える。



音声コード付き通知書

- Q** 音声コード付の発行物、通知書などはあるか。
- A** 健康福祉部長 音声コードをつけた発行物はない。
- Q** 音声コード付の通知書を推進すべきでは。
- A** 効果的な方法と考えるが、図やグラフ、イラストなど情報伝達方法に課題もある。
- Q** 今後の取り組みと考えは。
- A** 音声コードの有用性と課題を踏まえ、何が有効か視覚障害



池田 義治

質 問 1

視覚障害者向けに音声コードの利用促進を図れ
有用性と課題を踏まえ、意見を広く伺い進める

者や石川県視覚障害者協会などの意見を伺い、取り組みを進める。

質 問 2

育児用品のレンタルは譲渡掲示板などを活用していただきたい

- Q** 育児用品のレンタル要望に取り組み考えはあるか。
- A** 健康福祉部長 現在、実施予定は無い。

子育て支援センターの譲渡掲示板活用や子育て世帯相互での育児用品の有効活用も図っていただければと考えている。

質 問 3

オストメイトへの支援拡充を推進せよ
慎重に検討する

- Q** オストメイトの人数は。
- A** 市長 8月1日現在、膀胱・直腸機能障害による身体障害者手帳交付者が59名、内ストーマ用装具支給決定者は53名いる。
- Q** オストメイト対応のトイレは何力所あるか。
- A** 市役所本庁舎や高松産業文化センター、体育施設、公園などの19施設で、合計31基設置している。

*オストメイト 病気や事故などにより、お腹に排泄のためのストーマを造設した人
*ストーマ 人工肛門・人工膀胱



オストメイト対応トイレ

- Q** オストメイトマーク（人型の腹部に白抜き十字が描かれたマーク）の周知は。
- A** 「福祉のしおり」に障害者に関するマークを紹介している。
- Q** ストーマ用装具への給付費を増額する考えはないか。
- A** 現在、金沢市と中能登町を除く市町と同程度の金額を給付しており、増額については、各市町の状況を踏まえ慎重に検討する。



坂井 正毅

質 問 1

財政運営の見通しについて
引き続き健全な行財政運営をおこなっていく

- Q** 令和4年度の財政指数の評価について、どのように捉えているのか。

A 市長 財政健全化の指数は、県内11市の中で6位、市町全体で10位前後であり、全国類似団体の平均値と比較しても標準な財政状況である。

- Q** 今後の財政運営の見通しについて、どのように考えているのか。

A これまでの大型事業の公債費の償還が終了することから、財政負担が軽減していき、引き続き健全な財政を維持できると考えている。

人口減少対策や社会保障経費の増加など、厳しい社会情勢に対応するため、クラウドファン

(単位:%)

比率名称等	令和4年度	令和3年度	適否 適:○ 否:×	健全化計画、再生計画の作成基準	
				早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (注)	- (▲5.56)	- (▲6.06)	○	13.21以上	20以上
連結実質赤字比率 (注)	- (▲21.49)	- (▲21.41)	○	18.21以上	30以上
実質公債費比率 (3ヵ年平均)	10.7	10.8	○	25以上	35以上
将来負担比率	41.8	41.6	○	350以上	

(注) 実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質黒字であれば「-」表示となる。()内は実質黒字を▲(マイナス)表示したもの。

財政健全化比率

質 問 2

清水賞を継続できないか
基金の活用を含め検討したい

- Q** NPO法人清水育英会の活動をどのように捉えているか。

A 教育長 高校進学のための無返還の奨学金給付や子どもたちを対象とした清水賞という表彰制度、「本物から学ぶ体験活動」としての講演会を実施されており、合併後は表彰の対象を市内全小中学校に拡大して継続していただいていることは、大変意義深いものと感じており、深い敬意を表するとともに感謝を申し上げます。



故清水源太郎氏の顕彰碑

- Q** 今年度で清水育英会が解散するが、市として「清水賞」を継続できないか。
- A** 故清水源太郎氏からの寄付金を原資として創設された「清水平和賞特別基金」があり、この基金の将来的な活用方法も含め、子どもたちにとって励みになるような表彰制度やその他の取り組みができないか学校にも相談していく。

総務
建設
常任
委員会

総合体育館の指定管理者決定

おもな審査内容

◎公の施設の指定管理者の指定
かほく市総合体育館について、令和6年度から令和20年度までの15年間で「かほくPFIアリーナ株式会社」を指定管理者として指定するもの。



総合体育館イメージ図

◎一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
新型インフルエンザ等対策特別措置法及び内閣法の一部改正に伴い、感染症などの拡大時における地方公共団体の事務の代行等の対象が拡大されたことにより、条例中に規定している手当の名称を変更するなど所要の改正を行うもの。

◎火災予防条例の一部改正

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、今後、大型の電動車両等の普及拡大が想定されることから急速充電設備の全出力の上限である現行の200キロワットを撤廃し、充電対象に船舶や

航空機などを追加するなど、所要の改正を行うもの。

◎市道の路線変更

○高松北中町地内の旧市営住宅「高松北部第2団地跡地」の売却処分方針が決定したことから、市道高松108号線の一部区間を廃止し、路線の終点を変更する。また、高松109号線、110号線及び111号線の3路線を廃止するもの。

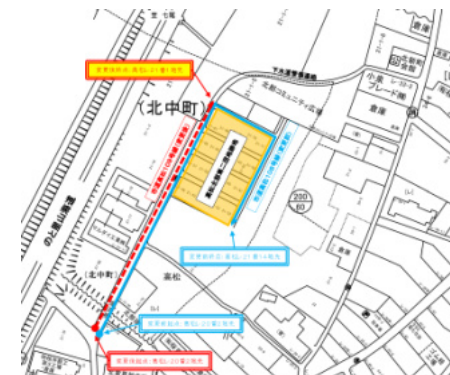
○夏栗地区における県営ほ場整備事業の完成に伴い、市道長柄町14号線の一部区間を廃止し、起点の位置を変更するもの。

竹内委員

市営住宅跡地は、海に近いこともあり塩害も想定されるが、活用方法の見込はあるか。

総務課長

住宅地としては小中学校から遠く不便であるため、工業用地などを想定している。



市道高松108号線

総務建設常任委員会

委員長 野田 稔彦
副委員長 池田 義治
委員 寺内 照雄
竹内 幹雄
丸井 一範
塚本 佐和子
中川 康弘

地域
文教
常任
委員会

総合体育館の利用料決定

おもな審査内容

◎市総合体育館条例の制定
令和6年4月のオープンに向け、整備を進めている総合体育館の設置条例を制定し、施設の名称や利用料金などについて、必要な事項を定めるもの。

高橋委員

近隣の総合体育館と比べ施設利用料はどうか。

スポーツ文化課長

最新設備を備え、県内でも数少ない冷暖房を完備した総合体育館であることから、若干だが高く設定している。

高橋委員

スポーツ合宿や大会誘致のため、かほく市に宿泊した方を対象に、施設利用料を減免してはどうか。

スポーツ文化課長

スポーツによる地域経済の活性化が課題になっている。
宿泊料の減免だけでなく、小売店、飲食店の特典など幅広く検討していく。

地域文教常任委員会

委員長 大西 潤
副委員長 長柄 裕
委員 猪村 博靖
杉本 正一
高橋 成典
坂井 正毅
金子 猛

総合体育館の利用料金

区分	単位	施設利用料金	
		市内利用者	市外利用者
アリーナ	個人	高校生以下 1時間	100円
		一般 1時間	200円
	団体	全面 1時間	5,500円
		半面 1時間	2,700円
		1/3面 1時間	1,800円
		放送室(設備使用を含む。) 1時間	1,000円
		放送設備のみ使用 1時間	500円
武道場・弓道場	個人	高校生以下 1時間	100円
		一般 1時間	200円
	団体	1時間	1,000円
		冷暖房設備 1時間	500円
トレーニングルーム	65歳未満 2時間	300円	800円
	65歳以上 2時間	100円	200円
諸室	多目的室 1時間	1,000円	2,000円
	会議室 1時間	500円	1,000円
	冷暖房設備 1時間	300円	800円

予算
決算
常任
委員会

定例会初日の8月29日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会でを行い、9月12日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会
9月8日開催

おもな質疑

竹内委員

長柄用水の復旧状況は。

農林水産課長

土砂崩れにより水路が埋まっている部分は崩土の除去を進め、令和6年春までの復旧を目指している。

用水路が壊れている部分については、使用時に間に合わなければ、仮設による通水対応を検討している。



多田区集会所の被害

野田委員長

浸水被害のあった多田区集会所の改修にあたり、移転や災害対応の予定はあるか。

総務課長

移転や災害対応の予定は聞いていない。

寺内委員

補助災害、小災害、単独災害の違いは。

農林水産課長

事業費40万円以上が補助災害13万以上40万円未満が小災害

総務建設分科会

災害対応・復旧関連経費を計上

地域文教分科会

子ども・高齢者に1万円支給

13万円未満が単独災害である。

竹内委員

道路などの復旧状況は。

都市建設課長

応急工事や市単独の災害復旧工事は概ね完了しており、補助災害の申請箇所について、国の災害査定等に向け準備を進めている。



崩落した明乗寺橋（箕打地内）

地域文教分科会
9月7日開催

おもな質疑

高橋委員

高齢者への商品券1万円分は、全ての方に支給できたのか。

長寿介護課長

9月4日現在、65歳以上の対象者の方は1万560人で、そのうち98・69%の方に支給した。

高橋委員

子育て世帯への1万円支給は。

こども家庭課長

高校生以下の子どもがいる子育て世帯が対象で、98・4%の世帯に9月末までに支給できる予定である。

杉本正一委員

空き家の除却の補助金の額を増やせないか。

防災環境対策課長

今後、改修支援や空き家バンクの推進などの利活用に力を入



空き家等を活用する出店者に最大360万円

れていきたい。

金子委員

空き家空き店舗活用事業補助

金の詳細は。

企画振興課長

当初は2件の申請を想定していたが、新たにカフェと、持ち帰り飲食サービス業の2件申請があった。

これまで飲食業のほか、エステティック業、リラクゼーション業など多種多様な業態の方々に活用していただいている。特に、若い女性の方の起業が多い。

金子委員

大会出場派遣事業で、北信越大会や全国大会に出場する方の種目は。

学校教育課長

全国中学校体育大会には、宇ノ気中学校の男女剣道部と河北台中学校から陸上女子100メートルに1人が出場している。

猪村委員

全国大会に出場する方に激励費を支給しているが、スポーツだけでなく文化活動も支給されるのか。

教育部長

対象となる大会は、予選を経て出場する全国大会である。

文化活動にも支給されるが、文化活動の全国大会は予選がない大会が多いため、支給対象者はスポーツより少ない。

予算決算常任委員会

委員長 金子 猛
副委員長 中川 康弘
委員 議長を除く12名

地域文教分科会 審査案件	
内容	専決処分 令和5年度一般会計補正予算(第4号)
・ 65歳以上の高齢者へ商品券支給 ・ 子育て世帯(高校生以下)へ給付金支給	・ 豪雨で崩落した金津小学校のり面の測量設計委託料 ・ 浸水被害にあった住居の消毒費用 など
内容	専決処分 令和5年度一般会計補正予算(第5号)
・ 白尾児童館のトイレ・外壁の改修 ・ 落雷による宇ノ気小学校のエアコン修繕に係る費用 ・ 豪雨で崩落した木津公民館のり面の復旧工事 など	
内容	令和5年度一般会計補正予算(第6号)

総務建設分科会 審査案件	
内容	専決処分 令和5年度一般会計補正予算(第3号)
・ 宇ノ気第3分団 県消防操法大会出場費	
内容	専決処分 令和5年度一般会計補正予算(第5号)
・ 災害対応関連費(人件費・被災家屋消毒費用など) ・ 災害復旧費(農林農業用施設・道路・河川・学校施設など)	
内容	令和5年度 一般会計補正予算(第6号)
・ 災害復旧費(農林農業用施設・道路・河川・学校施設など) ・ 消防団胴付長靴購入費 ・ ブランド品目生産拡大補助金 など	
内容	令和5年度 水道事業会計補正予算(第2号)
・ 宇ノ気第1・第2配水池災害復旧工事	

令和4年度決算認定審査

- 一般会計
9月12日に、付託された令和4年度の各会計の決算認定10件に関して概要説明を受け、詳細な審査は総務建設・地域文教分科会で、分担して審査を行った。
- 総務建設分科会
9月14日開催
- 一般会計
担い手育成基盤整備事業負担金や住宅総務事務費の最終予算額と決算額との差、消防通信指令施設負担金の内容などについて確認した。
- 墓地特別会計
墓地の使用許可数、合葬墓整備に関するアンケートの結果について確認した。
- ケーブルテレビ事業特別会計
番組の再放送などに関する要望への対応について確認した。
- 大海財産区特別会計
人件費や保険料などの経常経費が主な支出であることを確認した。



令和4年に電子図書館がオープン

- 一般会計
電子図書の購入方法、通話録音装置に対する補助等の状況、高等職業訓練給付の対象、登園管理システム「コードモン」の活

地域文教分科会 9月13日開催

- 水道事業会計
内灘町との水道管連結事業の進捗について確認した。
- 下水道事業会計
マンホールポンプ場などの施設改修や北部浄化センター廃止に向けた南部浄化センターの機能強化について確認した。

- 介護保険特別会計
令和5年3月末現在で、要介護（支援）認定者は、前期高齢者が4546人、後期高齢者が5749人となっており、平成31年3月末以降、後期高齢者の被保険者数が前期高齢者より多い状態が続いていることを確認した。
- 後期高齢者医療特別会計
団塊世代の方々が後期高齢者医療制度へ加入する年齢になったことで、被保険者数が249名増加し、国民健康保険の被保険者数を上回る状況となったことを確認した。
- 国民健康保険特別会計
被保険者数の減少の影響により、医療給付費は令和3年度と比較し、減少しているものの、1人当たりの医療費については増加していることを確認した。



議長から市長に報告書を提出

- 行政評価も含め、予算決算常任委員会での指摘事項については、10月4日に杉本成一議長と丸井副議長が油野市長に報告書を提出し、令和6年度の予算編成に反映するよう要請した。

報告書提出

議会による行政評価を実施

予算決算常任委員会

事務事業を数値化して評価

7月31日に2分科会で審査対象事業の抽出を行い、「事業評価シート」をもとに、費用対効果や事業の妥当性、市民ニーズ、改善点などに着目し審査した。

総務建設分科会

8月3日・7日開催

デジタルトランスフォーメーション（DX）やふるさと納税の推進など、これまでの取り組みを高く評価しつつ、主要農産物6品目に関する事業では、担い手不足や流通経路の拡大などの課題があるため、PRだけでなく新たな手法の検討を求める。

地域文教分科会

8月22日・23日開催

多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業をはじめ、

結果報告

創業支援事業や移住定住支援など、更なる事業効果が得られるよう継続した取り組みを求める。子育て支援事業では拡充した支援強化が図られており、今後の取り組みにも期待する。

両分科会長の経過と評価の報告を取りまとめ、9月12日に金子委員長から杉本成一議長に対し、結果を報告した。



委員長から議長に報告書を提出

令和4年度決算に係る議会による行政評価

総務建設分科会審査（抽出7件）

担当課	事業名	評価点
情報推進課（財政課）	新技術を活用した行政機能の効率化	85
総務課秘書室	ふるさと納税寄附金制度の推進	85
総務課管財室	普通財産の分譲化	75
都市建設課	耐震改修工事費等補助金	60
農林水産課 都市建設課	国土強靱化地域計画の着実な遂行	80
農林水産課	地域農産物ブランド化事業	70
農林水産課	担い手育成に関する事業（仮）	70

地域文教分科会審査（抽出8件）

担当課	事業名	評価点
学校教育課	多様なニーズに対応した教育機会の提供・支援事業	85
こども家庭課	親と子がともに健やかに成長できる環境づくり	90
企画振興課	かほくで創業するとこんなにいいことがありますよ	80
企画振興課	空き家空き店舗の活用による賑わいの創出	70
企画振興課	がんばる中小企業に対する支援事業	80
企画振興課	移住定住及び定着に向けた経済的な支援	90
企画振興課	シティプロモーションによるPR活動の推進	80
企画振興課	石川県立看護大学及び県内大学による地方創生推進事業	80



詳細はこちらから

- 予算決算常任委員会
- 委員長 金子 猛
 - 副委員長 中川 康弘
 - 委員 議長を除く12名



えにわ子育て応援隊

子育て支援の取り組みについて
(北海道恵庭市)
恵庭市では、地域全体で子育てを支え合うことを目的として、様々な機関・団体と「えにわ子育て応援隊」を立ち上げ、現在179会員で構成されています。子育てをテーマとしたアイデアを話し合いながら、子育てに関するイベントや事業を行い、えにわっこサポート事業では、提示により割引や子どもへのプ

地域文教常任委員会
8月8日～10日

ボールパーク誘致は、北広島市の究極の地方創生との思いで提案したとのことでありました。北広島市の目指す都市像と北海道日本ハムファイターズの企業理念の方向性が一致し、候補地として内定した後は、北広島市だけではなく北海道および札幌市と近隣16市町村に加えて、

ボールパーク構想について
(北海道北広島市)

子育て支援に力を入れている点では本市と共通しており、行政・民間・地域のまち全体で子育てを支え合う取り組みは、大変参考となる研修でありました。
レゼントなどの特典が受けれる「えにわっこサポートカード」や「えにわっこ応援タクシー事業」「子育て応援企業表彰」など、関係機関との連携強化を図り、オール恵庭で子育てを支援していく仕組みづくりを進めていました。



ボールパーク構想イメージ

北海道日本ハムファイターズと共に、ボールパークを核とした協働によるまちづくりを進めていました。
新球場の開業を先行させ、ボールパーク内にホテル、公園、シニアマンションなど、あらゆる世代の人々が交流する場を整備し、また、主要アクセス道路やJR新駅の整備、新駅北側の開発など、最終的な完了予定は20年後とのことでありました。
本市における総合体育館を活かした地域活性化について施策議論の参考になる研修でありました。

スポーツコミッションについて
(北海道千歳市)
千歳市では、交流人口の拡大、スポーツによる地域活性化を目指し、市内37団体が構成される「千歳市スポーツ合宿・大会誘致等推進協議会」を発足し、関係団体が連携して、豊かな自然環境や新千歳空港などの交通アクセスの利便性を活かした合宿や大会の誘致を行っていました。
総面積102ヘクタールを擁する道内屈指の総合公園である青葉公園は、陸上競技場や野球・サッカー・ラグビー場など、17施設が整備され、合宿やアスリート交流事業などの中心となっており、また、施設使用料を全額免除する合宿支援制度の創設など、スポーツ合宿等の誘致が促進されていました。
本市のスポーツコミッションの参考となる有意義な研修でありました。

総務建設常任委員会
7月24日～26日

下水道処理施設における消化ガスによる発電事業について
(宮崎県宮崎市)
宮崎市では、バイオマス資源である消化ガスを事業者売却し、事業者が発電を行うことで、再生可能エネルギーの有効活用を図るとともに、消化ガス売却による収益と既設の発電機の更新に伴う設備投資および維持管理費のコスト削減を図るため、消化ガス売却事業に取り組んでいます。
自治体による発電施設が不要であるため、更新や維持管理費が不要でコスト削減効果が大きく、また、施設で使いきれない消化ガスの未利用分をすべて売却することで、消化ガスを無駄なく活用でき、消化ガスの売却料金や施設を設置する土地の



消化ガス発電システム

使用料、固定資産税による収入増のメリットもあり、試算では、20年間で約6億円の費用対効果を見込んでいるとのことでありました。
PPP（官民連携）事業により、コストや事務負担の軽減、公共施設で再生可能エネルギーを有効活用する取り組みは、ゼロカーボンシティを目指す本市においても有効な取り組みであり、かほく市モデルとしてどう取り組むべきか、今後検討すべき研修内容でありました。

ふるさと納税および6次産業推進事業の取り組みについて
(宮崎県都城市)
都城市では専門部局により、農林水産物の加工だけでなく、消費者への直接販売や食品産業等との業務用取引など、新たな取り組みを行っており、物産セールス強化事業として、首都圏の百貨店を含む店舗等への営業活動、営業力スキルアップ事業などに取り組んでいる。
加工・製造を推進する個別事業者への補助金交付だけでなく、周知・啓発の取り組みや展示商談会などへの出店支援について、自治体職員が積極的に取り組むことで、商品力と販売力の強化を継続し、大都市圏でも売れる商品開発や都城市の地域力強化を実現していました。
また、ふるさと納税では、都城市が「日本一の肉と焼酎のふるさと」をコンセプトにして、多数のポータルサイトでの紹介



都城市のふるさと納税返礼品

に加え、大手広告代理店によるWEB広告や新聞広告など、積極的な対外PRを実施し、ふるさと納税受入額全国1位という実績と広告宣伝力を活かすことで、受入額のさらなる増加につながっていました。
かほく市認証ブランドについても、商品の更なる魅力アップと効果的な情報発信により、地域ブランド力を向上し、ふるさと納税受入額の増加につながると感じる視察研修でありました。